令和４年５月 30 日（月）発行

花高通信

５月号

岩手県立花泉高等学校
岩手県一関市花泉町字花泉字林の沢 17-9
TEL 0191-82-3363　FAX 0191-82-5448
URL：http://www2.iwate-ed.jp/han-h/

花高通信４月号では、入学式や生徒会歓迎会、新入生オリエンテーションなどを掲載しましたが、今回はその後の行事や学校の様子などを集めてみました。

4月 11 日　バイク通学説明会

バイク通学許可証の交付の他、一関警察署交通課の方をお招きし、交通安全講話をいただきました。

4月14日　通学手段別安全学習集会

「バイク・自転車通学生」「列車通学生」「徒歩・送迎通学生」の３グループに分かれ、講義やＤＶＤ試聴を通して、交通安全について理解を深めました。

4月12日　着こなしセミナー（1学年）

菅公学生服株式会社の方を講師にお招きして行われました。「やがて社会人となる皆さん、制服を着用することで服装のマナーやＴ・Ｐ・Ｏを学んでいきましょう。」や「制服はオフィシャルウェアです。“着こなし”と“着崩し”は違います。個人の満足ではなく、周りが見てどう感じるか？が「オフィシャルウェア」の本質です。正しい自己主張をしていきましょう！」等のお話をいただきました。

4月15日　仲間づくりトレーニング（1学年）

グループワークなどを通して、コミュニケーション能力を身につけるとともに、新しい仲間との交友関係も築きました。

4月15日　全校応援歌歌唱指導

４月 11 日～13 日は１学年のみ、14 日は１・２学年合同で練習してきましたが、この日は初めて全校生徒で行いました。感染対策をしながらで、大声を出すこともできませんでしたが、全校生徒の一体感を感じることができました。

4月22日　主権者教育（3学年）

一関市選挙管理委員会の方を講師にお招きし、模擬投票体験などを通して、18 歳で有権者になることについて学びました。

5月13日　職業別体験型学習会

全校生徒が希望により右表の 11 グループに分かれ、それぞれが興味をもっている職業等について、体験を通して学びました。生徒一人一人が体験できるというのは、小規模校の強みですね。

番号	講　座　名	講 師 所 属 校 等
1	幼児教育・保育	修紅短期大学
2	情報処理・コンピュータ	北上コンピュータ・アカデミー
3	建築・大工・設備	産業技術短期大学校水沢校
4	理美容・メイク・ネイル	東北ヘアモード学院
5	保育・こども	専修大学北上福祉教育専門学校
6	歯科医療	盛岡看護医療大学校
7	看護	水沢学苑看護専門学校
8	介護・福祉	専修大学北上福祉教育専門学校
9	公務員	上野法律ビジネス専門学校
10	動物	盛岡ペットワールド専門学校
11	就職	みらいキャリア研究所

【保育・こども】：こどもを喜ばせるためのダンスを習いながら、自らも存分に楽しみました♪

【歯科医療】：電動機器で歯を研磨しました。

【建築・大工・設備】：建物の立体模型を作りながら建物の構造を学びました。

【理美容・メイク・ネイル】：皆、興味深そうな眼差しで、集中して取り組んでいました☆

☆☆スポットライト☆☆

３年生の千葉優芽さんが新聞に載りました！優芽さんは世界平和に貢献したいと考え、自分ができるダンスを生かしたイベントを企画・開催し、収益を募金しました。

行動力がすごいですね。思考したことを直ちに行動に移す。まさに本校の校訓である『知行合一』です！

花泉高生がイベント主催　ワークショップやバトル

ダンス通じ平和訴え

一関市東合のアイドームで29日、ストリートダンスのイベントが開かれた。ロシアによるウクライナ侵攻を受けて、「ダンスを通じて平和を訴え、社会貢献したい」と高校生が主催し、参加者は踊りながら思いをかみしめた。

イベントを主催したのは、千葉優芽さん（17）＝同市花泉町涌津＝。小学2年の頃、始め、現在は県立花泉高校3年の千葉さんは、県内でストリートダンスを習い、インストラクターとして指導に当たりながら自分も踊り続けている。

ロシアによるウクライナ侵攻のニュースをテレビで見る中で、「今生きていること、自分がダンスをできていることは当たり前じゃない」と感じ、ダンスで何かできないかと考え、「イベントを楽しんでもらい、募金で社会貢献したり平和を訴えたりできたらいい」と決意。インターネット交流サイト（SNS）のインスタグラムでイベントを告知するなど準備を進めてきた。

イベントは前半に「ヒップホップ&R&Bワークショップ」が行われ、小学生から大人まで20人が参加し、千葉さんは軽快な音楽に合わせて自ら踊りながらダンスを指導した。後半は1対1で技を競う「1on1フリースタイルバトル」として音楽で盛り上げる中、さまざまなジャンルのダンサー14人が勝ち抜き方式で踊った。

参加者からは「いろんな人とつながれる機会」「ハッピーですてきなイベント」のストリートダンススクール「Once」へ通い、インストラクターとして指導に当たりながら自分も踊り続けている。

ロシアによるウクライナ侵攻のニュースをテレビで見る中で、「今生きていること、自分がダンスをできていること」は当たり前じゃない」と感じ、ダンスで何かできないかと考え、「イベントを楽しんでもらい、募金で社会貢献したり平和を訴えたりできたらいい」と決意。インターネット交流サイト（SNS）のインスタグラムでイベントを告知するなど準備を進めてきた。

イベントは前半に「ヒップホップ&R&Bワークショップ」が行われ、小学生から大人まで20人が参加し、千葉さんは軽快な音楽に合わせて自ら踊りながらダンスを指導した。後半は1対1で技を競う「1on1フリースタイルバトル」として音楽で盛り上げる中、さまざまなジャンルのダンサー14人が勝ち抜き方式で踊った。

参加者からは「いろんな人とつながれる機会」「ハッピーですてきなイベント」だった」といった声が聞かれた。終演後、千葉さんは「主催してみて達成の大変さが分かった。それでも、みんなが集まって楽しそうにしているのを見られて幸せ」と喜び、「夢はダンスのインストラクターとして地元で活躍すること」と前向きに引いた。

千葉さんは、集めた参加費から経費を差し引いた収益をウクライナの救援金として後日、市に寄託する。

↑

令和4年４月30日　岩手日日

ウクライナ救援　活動に役立てて

催し収益、市に寄託・花泉高生

ストリートダンスのインストラクターとして活動している県立花泉高校3年の千葉優芽さん（17）＝一関市花泉町涌津＝は11日、主催したストリートダンスイベントでの収益の一部を、ロシアの侵攻を受けているウクライナへの人道危機救援金として市に寄託した。

千葉さん、イベントに協力した妹の綾愛さん（15）＝同高1年＝、母親の美幸さん（43）が市役所を訪問。千葉さんは「フェイクニュースもあると言われている中、たくさんの方がこんなつらい悲しんだりしているのは事実だと思う。世界平和のために役立ててください」と日本赤十字社県支部一関地区長の佐藤誉一市長に人道危機救援金を託した。佐藤市長は「千葉さんのような若い方が行動を起こすのは意義のあることでありがたい」と応じた。

千葉さんはロシアのウクライナ侵攻をニュースで見るうちに「ダンスを通して平和を訴えたい」と思い、4月29日に同市東合のアイドームでストリートダンスのイベントを主催した。人道危機救援金は日本赤十字社を通じてウクライナの救援活動の支援に使われる。

ウクライナへの人道危機救援金を佐藤市長（左）に託す千葉さん

↑

令和4年5月19日　岩手日日

～～ある日の一コマ～～

右の写真は、学校案内パンフレット用に大内先生が撮影した写真の一枚です。パンフレット用としては他の写真を採用することになりましたが、私（副校長）はこの写真をとても気に入っています。私のお気に入りポイントは、４人中１人のみがセンターで座るというこの構図です。大内先生の指示のようですが、何となく昭和チックな雰囲気を醸し出し、懐かしさを感じさせる構図です。また、４人の生徒の“やらされている感”も伝わってきて面白いです。さらに、天気が良く、奥行もあり、とても良い写真だと思います！